

文永8年 50歳	文永7年 49歳	文永6年 48歳	文永5年 47歳	文永元年 43歳	弘長元年 40歳	文応元年 39歳		
<ul style="list-style-type: none"> 12・16 朝廷藤原公守を伊勢国へ派遣し異国降伏を祈願させる 10・28 佐渡に着す 10・23 幕府蒙古国書の副本を朝廷に上呈し是日議定する 蒙古の使趙良弼来る 	<ul style="list-style-type: none"> 1・11 蒙古船対馬に至る 9・12 龍口法難 13 幕府鎮西将士に令し海防を嚴重にさせる 19 蒙古使者趙良弼筑前国に来航する 	<ul style="list-style-type: none"> 12・8 安國論を写す(奥書) 3・7 蒙古使黒的ら対馬に来て島民を掠略して去る 10・11 北條時宗・極楽寺良観等の11ヶ所へ書を送り蒙古の事を論ず 	<ul style="list-style-type: none"> 8・21 宿谷入道に書を送り蒙古の事を論ず 7・17 朝廷異国降伏を祈願する 4・5 法鑒房へ書を送り蒙古の事を論ず『安國論御勘由来』 2・7 幕府蒙古・高麗の国書を奏上する。北條時宗、蒙古使を退く 27 幕府蒙古襲来の防備を讃岐国の御家人らに下知する 	<ul style="list-style-type: none"> 7・5 大彗星出現 1・18 蒙古使黒的・高麗使潘阜大宰府に到着し国書・方物を献上し 通交を要求す 	<ul style="list-style-type: none"> 5・12 伊豆に配流 	<p>『立正安國論』奏進</p> <p>「他国侵逼の難」預言</p>		
			<div data-bbox="1680 606 1904 1101" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>他国より此の国を 破るべき先相なり 『安國論御勘由来』</p> </div>					



佐 後(身延)

佐 渡

建治2年
55歳

建治元年(4/25)文永12年
54歳

文永11年
53歳

文永10年
52歳

文永9年
51歳

- 2・『開目抄』を著す
- 2・11 六波羅南方の北条時輔異心を抱く
- 「自界叛逆の難」
- 5・元使趙良弼の使者張鐸高麗の牒状を携え来航する
- 3・元使趙良弼大宰府に至り京都に入れず去る
- 4・25 『観心本尊抄』を著す
- 7・8 曼陀羅を図顕す
- 5・17 身延に入る
- 10・5 蒙古兵三万・船九〇〇対馬に来襲する宗助国戦死する
- (文永の役)「他国侵逼の難」
- 14 蒙古軍吉岐を侵略し平経高戦死する
- 20 蒙古軍筑前国に上陸し、夜大風起り蒙古船二百余漂没す
- 11・1 蒙古襲来の報幕府に届く
- 6・ 『撰時抄』を著す
- 9・6 時宗、元使を鎌倉に斬る
- 9・7 幕府杜世忠ら五人を竜口に斬殺し諸国の公事を減少し兵備を充実する
- 12・8 幕府明春元・高麗征討を企て諸道の梶取・水手を召集する
- 3・10 幕府九州の将士に命じ筑前国の筥崎・今津間の海岸に石塁を構築させる(八月にほぼ竣工する)
- 15 幕府鎮西の将兵を博多に集結させる



「他国侵逼の難」

「他国侵逼の難」前夜

佐 後(池上)

佐 後(身延)

弘安5年
61歳

弘安4年
60歳

弘安4年
58歳

建治4年
57歳

建治3年
56歳

- 9・8 身延山を出づ
- 9・18 武蔵国池上着
- 9・25 聖人、池上に安國論を講ず
- 10・11 聖人、經一磨を召し京都の弘通を命ず
- 10・13 聖人入滅



- 6・8 大宰府宋国の滅亡により日本商船が交易を中止して逃げ帰った事を幕府に報告する
- 11・ 元主日本商船に交易を許可する
- 12・23 時宗宋に書を送り碩徳の僧を招聴する
- 7・29 元使周福・欒忠筑紫に来航し書を届ける
幕府これを奏上する是日朝議これを却下しついで幕府周福らを博多に斬殺する
- 5・21 高麗の兵船五百余吉岐・対馬を侵略する
- (弘安の役)「他国侵逼の難」
- 5・ 蒙古来襲
- 6・6 元高麗船志賀・鷹島などを襲撃ついで元将苑文虎船三、五〇〇・兵一〇万を率いて来襲し守備軍に阻まれ鷹島に拠る
- 20 天皇宸筆宣命を八陵に献じ異国降伏を祈願する
- 7・2 童造寺季時・松浦党ら元高麗軍と吉岐瀬戸浦で交戦
- 1 大風雨のため元船ごとごとく漂没し兵多数溺死する
- 11 幕府北条時業(兼時)を播磨国に遣わし防衛させる

第三次「他国侵逼の難」前夜

第二次「他国侵逼の難」

第二次「他国侵逼の難」前夜